

## 2. 高齢者生活支援に伴う事業化の検討と協議

【豊浦町高齢者生活支援事業検討協議会】

### (1) 地域の課題

豊浦町では、町内の商店が年々減少し、生鮮食料品店は6店舗のみとなり、多くの地区が無店舗となっています。

商工会の取組として移動販売や移動店舗を検討しましたが、店舗が少ないため安定供給が困難で、近隣の大型店との価格差や採算性、継続性など問題が多かったことから、移動販売等に踏み切れない状況でした。

町が行ったアンケートでは、「ふれあいの場がほしい」や「買い物が不便」といった生活環境に不安を抱く高齢者の声が多かったことから、出来るところから取組を進めることとし、手始めに社会福祉協議会から給食サービスを受託し、それを拡大させて、安否確認も含め高齢者ニーズに即したサービスの展開を目指しています。

### (2) 研究グループの目的

高齢者の生活に関するニーズや欲している情報を基礎に、高齢者と直接接している各団体の意見等を聞き、保健福祉行政を踏まえた事業化ビジョンの作成

### (3) 研究グループの構成員

- ・実施主体：豊浦町商工会
- ・行政機関：豊浦町（産業振興）、総合保健福祉施設やまびこ
- ・福祉団体：社会福祉協議会

### (4) 研究グループの検討内容

グループで行った5回の研究会では、参加者に事業アイデアを出していただき、その中から介護サービスとの重複を避けつつ、構成員が連携できるサービスに絞り込んで検討を進めました。

○サービスや事業内容のアイデア抽出と意見交換

- ・参加者が、事業アイデアを自由な発想で提出し、対象者、目的、メニュー内容、実施体制、実施条件等で整理

○事業計画策定のポイント整理

- ・策定方法、環境分析、市場ニーズ把握、事業計画の策定と流れ

○事業計画素案に対する検討課題

- ・利用ニーズの調査計画と実施方法
- ・実働組織づくり、ボランティアの管理組織のあり方

- ・協力者（実働、商品提供等）の想定

○検討課題への対応方向性

- ・社会福祉協議会と連携、情報共有とともに、高齢者へのニーズ調査を実施
- ・地域支え合い体制づくり事業で育成されるボランティアや地域ネットワークの活用

### (5) 研究会の検討課題を踏まえた取組

次の3つの事業を基本的な取組として事業計画試案をまとめましたが、引き続き高齢者ニーズなど情報収集を図り、精度を高める必要があります。

○高齢者を対象とした安否確認を含めた弁当・おかずの宅配

○除雪、清掃、草刈り等の生活支援

○買い物支援

### (6) 今後の事業展開

高齢者生活支援事業の先進事例視察を行うなど、商工会が運営主体となり本協議会を継続し、事業実施に向けた協議を進めています。準備作業として、

○市場調査

○調査結果に基づき事業詳細検討

○人員等実施体制の整備

○PR・販促計画策定

に取り組むこととしており、平成26年度からの本格実施を目指しています。

#### <専門家からのアドバイス>

- ・役割の異なる商工と福祉、行政が一堂に会して、様々な視点から高齢者向け生活支援について意見交換を行う中で、課題の共有ができ、サービスの事業化に向けて連携協力体制が構築されました。
- ・今後はビジネスとして成り立つよう、相互理解を深めつつ高齢者のニーズに即した事業の仕組みづくりが重要になります。

【(株)オミセネット 紫藤孝朗 氏】